

# 施策評価調書

## 1 施策の概要

(1)	施策名	教育内容の充実／心豊かな児童・生徒の育成					
(2)	総合計画の体系	第	04	章	個性がひかる学びと文化創造のまちづくり		
		第	01	節	学ぶ意欲と主体性を育てるまちづくり		
		第	13	細節	教育内容の充実／心豊かな児童・生徒の育成		
(3)	事業費など (単位:千円)	項目\年度(平成)		27年度決算額	28年度決算見込額	29年度予算額	
		事業費(A)		850	309	317	
		従事職員数		0.64 人	0.50 人	0.30 人	
		所要人件費(B)		5,146	3,950	2,416	
		総事業費(A+B)		5,996	4,259	2,733	
		財源内訳	収	国庫支出金	0	0	0
				府支出金	0	0	0
				その他	0	0	0
			市負担	地方債	0	0	0
				その他	0	0	0
一般財源	5,996			4,259	2,733		

## 2 評価の指標(施策に係る成果指標)

指標項目		項目\年度(平成)	27年度実績	28年度実績	29年度計画
指標内容	中学生の主張大会運営に関わる生徒数	目標値 (単位:人)	22.00	23.00	23.00
		実績値 (単位:人)	24.00	22.00	
目標値の積算方法	中学生の主張大会運営に関わる生徒数 (司会3名、発表者各校1名、手話通訳1名、生徒会サミット報告1名の合計)	達成度(%)	109.1	95.7	
指標内容		目標値 (単位:)	0.00	0.00	
目標値の積算方法		実績値 (単位:)	0.00	0.00	
		達成度(%)	0.0	0.0	

## 3 施策の点検(施策を進めるうえでの課題)

「生徒指導推進事業」においては、市内中学校18校の代表による主張大会を実施し、中学生の道徳的価値の自覚と人間としての生き方について考えを深めるとともに、大阪府生徒会サミットに参加した中学校が府内中学校の生徒会の取組を報告しており、大変有意義な事業である。また、副読本については、今後道徳の教科化により教科書が採択されることから、副読本を電子データ化し、適宜教材として活用できるよう整備する等の検討が必要である。

4 施策の評価

次年度の 優先 順位	施策を構成する 事務事業名	室課名	事業 番号	市 単 独 事 業 区 分	施 策 へ の 貢 献 度	各視点からの評価 (20 → 4) 高 → 低						今後の 方向性 (実施 計画)
						妥 当 性	有 効 性	効 率 性	公 平 性	持 続 可 能 性	合 計	
1	生徒指導推進事業	指導室	00883	全部	大	20	16	18	16	20	90	継続
2	中学校副読本作成事業	指導室	00898	全部	中	16	20	18	16	16	86	継続
3											0	
4											0	
5											0	
6											0	
7											0	
8											0	
9											0	
10											0	
11											0	
12											0	
13											0	
14											0	
優先順位をつけるにあたっての考え方		施策への貢献度の大きなものを最優先とした。児童・生徒の道徳性を育む教育活動において、中学生の主張大会の実施は重要な事業である。										